

「災害（復興）・防災と男女共同参画に関する講師養成研修」

2019年度 実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中
 下記のとおり、報告いたします。

報告日 令和元年12月26日

1 施設概要

施設名	公益財団法人 こうち男女共同参画社会づくり財団 (こうち男女共同参画センター ソーレ)	
代表者名・職名	理事長 筒井 早智子	
住所	〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地	
	電話 088-873-9100	FAX 088-873-9292
担当者名・職名	主担当 住友 亜矢子 (主任)	
	E-mail a-sumitomo@sole-kochi.or.jp	

2 事業の概要

事業名	災害（復興）・防災と男女共同参画に関する講師養成研修
趣旨、ねらい	女性の参画が少ない防災分野にもっと女性の参画を広めることを目的として、最新の防災事情や発災時に女性が置かれるリアルな状況などと併せ、女性の防災分野への参画の必要性・それを伝えるための手法についても学び、それを地元や地域に広めることができる人材の育成を目的とする。
対象者と定員	県内の男女共同参画部署に在籍する職員 県内の防災部署に在籍する職員 四国内の防災士会メンバー 当センターで実施した「女性防災プロジェクト」の受講生など一般市民 全国女性会館協議会会員 など 定員40名
実施日	令和元年12月13日（金）～14日（土）
プログラム概要	1日目（12月13日） 【基礎知識 ～男女で異なる被災経験と対策の方向性～】 【災害時の要配慮者支援 ～ワークショップ～】 【地域防災の基礎と女性をめぐる状況】 【研修の種類と対象、意義、効果】 このあと、1時間程度質問タイム&情報交換 2日目（12月14日） 【国際動向及び国内政策と現状】 【災害時の女性と子どもに対する暴力とその対策】 【やってみよう！避難生活に関するワークショップ】 【女性関連施設の役割とこれから ～プログラム&今後の取り組みを考えてみよう！～】

実参加者数	(1日目) 24名 (2日目) 22名
アンケート結果の概要	盛りだくさんな内容であったが、「大変勉強になった。」「素晴らしい研修だった」と満足度は非常に高かった。 また、防災に関心を持ち、既に活動されている参加者も多かったためか、災害時に女性や要配慮者たちが置かれる状況について学んだことを、これから具体的にどう活かしていきたいかについて書かれている人もあった。
担当者所感	研修自体の内容はもちろんのこと、内容ごとに組み立てられた時間割の設定が素晴らしかった。防災の基礎知識から始まり、災害時の要配慮者支援の必要性・女性が置かれている状況などの講義を経て、そこから「災害時における女性の参画の必要性」というこの研修の核となる部分に入っていったことで、研修の内容がとてもスムーズに受講者に取り入れられたという手ごたえを感じた。 それゆえに、参加者数が定員(40名)よりもかなり少なかったことは残念であり、広報開始時期が遅くなってしまったことや、研修の必要性をもっと具体的に伝える必要があったのではないか、などの反省すべき点もある。

3 収支報告

(1) 収入の部

項目	金額	内訳
自己資金		
その他の寄付金、助成金		
収入合計	円	

(2) 支出の部

項目	金額	内訳
支出合計	円	

*報告書(収支報告除く)およびアンケート結果は協議会のHPに掲載します。